

ご推薦文

2004年3月13日発行本「潜在能力の科学」からの転載
肩書き等は当時のものです。

潜在能力の科学
Human Potential Science

2004年 早春

初版に寄せて

河村 建夫

文部科学大臣、 衆議院議員

前 文部科学副大臣、 元 衆議院 文部科学委員長、 元 法務政務次官
国際生命情報科学会（*ISLIS*）特別顧問

この本を監修された山本幹男先生ほか、主な著者の皆さんには、国会議員の研究会「人間サイエンスの会」で度々お話をさせて頂いた。その会は、潜在能力について学ぶ会で、月に1度、議員会館で開かれた7年程たつ。これまで、多くの先生から貴重なお話を聞かせて頂いたが、いずれも、研究にかける情熱と、その内容の重要さには感心させられた。また、2002年に幕張で開かれた「潜在能力の科学」国際フォーラム（主催：国際生命情報科学会 他）では、挨拶を述べたが、そのときの会場の熱気は、今も鮮明に思い起こされる。

私は、一貫して文教を専門として来たが、現代の人間、教育や社会の抱えている問題を解決する糸口が、この分野の中に潜んでいるように思う。国民一人一人の潜在的能力の開花こそは、新しい時代を切り開く原動力になるであろう。

そのような重要な研究は、国策として大いに推進し、多くの研究者が参加出来るようにし、質の高いものにすべきと思う。

本書が一人でも多くの方に刺激を与え、本分野が発展することを期待してやまない。

ご推薦文

2004年3月13日発行本「潜在能力の科学」からの転載
肩書き等は当時のものです。

山本 有二

財務副大臣、衆議院議員、弁護士

元 法務総括政務次官、元 自治政務次官、元 衆議院 法務委員長、経済産業委員長
人間サイエンスの会 会長、国際生命情報科学会（*ISLIS*）特別顧問

この本は、現代の常識への挑戦である。能力というのは、この世に生を受けた全ての人々に共通に持ち合わせている所与のものである。そのうち、100%与えられた能力を生かしきる人は、百に一人もいないであろう。なぜ生かせないのか。それを開く命運をこの本は教導してくれるものである。

日々の生活に追われ、雑事に奔走し、人生の目標を見失いがちな私にとっては、正に福音である。閉塞感を覚え、「今」を脱したいとする現代人に必読の著であるといえよう。

著者の皆様の研究の更に発展されんことを祈念してやみません。

（第4部、第4章に転載文有り）

北岡 秀二

参議院文教科学委員長、参議院議員

元 法務政務次官、
人間サイエンスの会 幹事長、国際生命情報科学会（*ISLIS*）特別顧問

最近の様々な研究によって明らかにされているように、われわれが持つ潜在能力には未知の能力と可能性があるが、それを科学的な見地から解明に着手するということは、「宇宙の構造」を科学的に解明することよりも遥かに困難なことであることは容易に想像できる。本書は、その「潜在能力における科学」の進歩を様々な角度から実感できる貴重な一冊である。

（第4部、第4章に転載文有り）

ご推薦文

2004年3月13日発行本「潜在能力の科学」からの転載
肩書き等は当時のものです。

岡崎 久彦

岡崎研究所 理事長・所長、 外交評論家

元 在サウディアラビア大使、 元 在タイ大使
国際生命情報科学会（*ISLIS*） 特別顧問

私は健康法として気功の勉強をしていますが、すればするほど、近代科学ではまだ解明されていない、人間の心と体の不思議に驚かされます。この本の執筆者の多くは、私が直接教えを乞う機会があった先生方ですが、いずれも、自然科学の専門分野の深い学知識、真理を解き明かそうとされる真摯な態度において、いささかの疑いも持たせなかった方々であり、こうした御努力が人間科学の新しい世界を開かれる事を強く期待してやみません。

野辺地 篤郎

聖路加国際病院 元院長

日本医学放射線学会 名誉会員、 ドイツ・レントゲン学会 名誉会員
国際総合研究機構（*IRI*）副理事長、 国際生命情報科学会（*ISLIS*）学術顧問

人間の持っている思いもよらない能力について、多くの方々が研究して来られたが、ここで示された様に、その知識はまだまだ極めて浅く乏しい。

これらの研究は、喩えてみれば軟らかいふにゃふにゃとしている物を科学という硬い定規で測定しようとしていると言えよう。なにかもっと違う発想で研究すべきである事を本書は示唆していると私は考える。

この様な事を考えながら、現在我々の持っている知識の一部でも、この本で知ってほしいものである。

ご推薦文

2004年3月13日発行本「潜在能力の科学」からの転載
肩書き等は当時のものです。

渡邊 日章

日本医科大学 名誉教授

日本催眠学会 名誉会長、 日本法医学会 名誉会員
国際生命情報科学会（*ISLIS*）学術顧問

この著書は、国際生命情報科学会（*ISLIS*）を設立して長年にわたり潜在能力の科学的研究に努めて来られた、斯界の各分野それぞれの権威者が監修されているので、恐らくは今後この方面の研究を志す者にとっては、なによりの指針となるものと思われま

す。著者たちが、最初に指向した心と体の不思議の解明にとどまらず、人間復興、能力開発や健康増進・長寿にもその範囲を広げつつあることは、誠に慶しいことと思います。

帯津 良一

帯津三敬病院 名誉院長、 日本ホリスティック医学協会 会長

日本代替・相補・伝統医療連合会議（JACT） 理事
国際生命情報科学会（*ISLIS*）特別評議員

まだ時間はかかるとしても、いずれ“気”が科学的に証明される時代が来ると予感しています。その気の解明に向けての国際生命情報科学会の、たゆみない活動を敬意と期待をもって注目してきました。

これまでの、ご努力の総括としての本書は、やがて来る時代への橋頭堡として燦として輝いています。

刮目して手に取りたいと思います。

ご推薦文

2004年3月13日発行本「潜在能力の科学」からの転載
肩書き等は当時のものです。

福岡 明

医療法人社団明徳会 会長 同福岡歯科統合医療研究所 所長

日本代替・相補・伝統医療連合会議（JACT）理事、日本統合医療学会（JIM）理事
国際生命情報科学会（*ISLIS*）特別評議員

現在、人間が持つ潜在能力については未知な事だらけである。これらを客観視し、科学的データを元に解明しようとしてきたのが、国際生命情報科学会（*ISLIS*）である。

この分野の未知なる事を実証科学がどこまで解明できるかは分からないが、同時に科学の限界と目に見えないものの実在を示すことになるかも知れない。

研究者、我々臨床医にとって、本書に集約された叢智は、その基礎として、必要不可欠なもので、新たな全人的対応に基づく医療の実現の一助となるであろう。

土屋 喜一

早稲田大学 名誉教授、日本人工臓器学会 名誉会長

日本機械学会 元会長、日本代替相補伝統医療連合会議 監事
国際生命情報科学会（*ISLIS*）次期会長

時刻は時計を見れば分かるが時代の変化はどこにも表示されない
ので、自分で見とっていかないと分からない。21世紀に入ってから
各分野が地球規模で変貌している。科学技術分野では素粒子から
宇宙まで解明されてきたが、永く未知、神秘であった心、精神、霊、
魂、がいよいよ解明されねばならなくなってきた。幸い脳科学、生
体計測、画像処理工学、分析化学など急速な進歩をとげているので、
人類の健康と医療を目指して、この分野の成果が期待される。